

## 令和４年 山武市議会第１回定例会会議録 (第２日目)

○議長（能勢秋吉君） ないようですので、以上で関連質問を終了し、新政会、戸村勝敏議員の代表質問を終わります。

次に、さんむ21、石川和久議員の代表質問を許します。

なお、質問者の変更について、本日開催の議会運営委員会に諮り、これを承認しております。

石川和久議員、御登壇願います。

石川議員。

○７番（石川和久君） 議席番号７番、さんむ21、石川でございます。議長にお許しをいただきましたので、代表質問を行います。

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が、昨年末から全国各地で報告され、これまでに経験したことのない速度で、感染が急拡大しており、市内においても、感染者が増加している状況でございます。

市職員の中からも多数確認され、業務に多大な影響をもたらし、大変御苦勞の中、業務に当たっておられると御推察いたします。

このように、非常に大変な状況の中で、万全のコロナ対策をしていただきながら、この場に立てることは、議長をはじめ議会運営委員会の皆様、執行部の皆様の市民に寄り添い、意見を聞く姿勢の表れであり、市民の代表である私たちに対しての最大の御配慮であると深く感謝しております。

早速質問に入りますが、このような状況でございますので、質問を最小限に絞り、伺いたいと思います。

はじめに、旧松尾町の区域の過疎地域指定について質問いたします。

この質問は、先ほどの戸村議員と重複する点がございますが、よろしくお願いいたします。

先月、１月中旬に、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づいて、令和２年の国勢調査の結果を受けて、新たに過疎地域に指定される地域の中に、山武市の旧松尾町の区域が含まれる見込みであることが報道されました。

まずは、この過疎地域に指定される要件や人口減少の状況について説明を求めるとともに、過疎地域に指定されることに対する市長の率直なお気持ちを伺いたいと思います。

○議長（能勢秋吉君） 市長、御登壇願います。

○市長（松下浩明君） さんむ21、石川議員の代表質問、人口減少対策についてにお答えさせていただきます。

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法、いわゆる新過疎法は、急激な人口減少や少子高齢化の進展によって、引き続き厳しい状況にある過疎地域の持続的発展のための対策を実施するため、令和3年度から令和12年度までの10年間の時限立法として、制定されました。

このたび、令和2年の国勢調査結果によりまして、旧松尾町の区域が、令和4年4月1日に過疎地域に指定される見込みとなりました。

旧松尾町の過疎地域指定については、率直な気持ちといたしましては、非常に残念な結果でありまして、過疎という言葉のイメージが、松尾地域のお住まいの方々や地域事業者の皆様方に与える影響を思うと、誠に遺憾に感じております。

しかしながら、この後、担当部長より詳細な説明をさせていただきますけれども、今回の松尾地域の指定につきましては、地域の人口推移の特性が、制度上の要件に合致した結果でありまして、松尾地域、いわゆる山武市の人口減少が想定以上に進行したものではないと考えております。

かえって、今回の指定を有効的に活用することによりまして、対策事業の財源確保が見込めるなど、メリットもございますので、これまでの実施事業の効果検証を踏まえつつ、より効果的な人口減少対策を講じていかなければならないと考えているところでございます。

○議長（能勢秋吉君） 総合政策部長。

○総合政策部長（荒木康之君） 新過疎法における過疎地域の指定の要件について、説明いたします。

過疎地域の指定は、人口がどれだけ減っているのかという人口要件や、財政力が全国平均と比べて低くなっているのかという財政力要件で、判断されています。

まず、人口要件については、過去40年間の減少率など、3種類の要件のうち、どれか一つを満たす場合に該当となります。

そのうち、中期25年間、つまり、平成7年から令和2年の人口減少率が、全人口減少団体の平均である23%以上という基準に対しまして、旧松尾町区域が23.24%と僅かに上回ったため、要件を満たすこととなりました。

ちなみに、旧成東町区域は12.3%、旧山武町区域は18.3%、旧蓮沼村区域は20.78%で、市全体では17.06%の減少率でした。

次に、財政力要件については、直近3か年、つまり、平成30年度から令和2年度の財政力指数の平均が、全市平均の0.64以下となる場合に該当となります。

市の財政力指数の3か年の平均は、0.50であったため、要件を満たすこととなりました。

なお、財政力指数は、旧町村ごとに算出できませんので、山武市全体の数値となります。

続いて、令和2年の国勢調査の結果と現状分析について説明いたします。

市では、令和元年に策定した第2期山武市まち・ひと・しごと創生総合戦略の人口ビジョンにおいて、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計に準拠して、45年後の令和47年までの地域別人口を推計しております。

この令和2年の推計値と令和2年国勢調査の結果を比較しますと、松尾地域の推計は、8,739人に対し、8,764人で、25人の増と、ほぼ推計どおりの結果となっています。

成東地域は、推計2万279人に対し、2万647人で、368人の増。

山武地域は、推計1万5,498人に対して、1万5,351人で、147人の減。

蓮沼地域は、推計3,658人に対し、3,682人で、24人の増。

市全体では、推計4万8,174人に対し、4万8,444人で、270人の増でした。

山武市の地域別の人口の推移は、成東・山武地域と松尾・蓮沼地域で、特色が異なります。

1980年代後半のバブル経済による土地価格高騰の影響を強く受けた山武・成東地区は、人口急増の時期を経て、平成12年がピークとなっています。

一方で、松尾・蓮沼地域への影響は比較的小さく、人口増減は緩やかで、特に松尾地域は、他の地域よりも5年早い平成7年が、人口のピークとなっています。

今回の人口要件の起点となる平成7年に、松尾地域のみが人口のピークを迎えたという、この松尾地域の特性によりまして、他の地域に先駆けて、過疎地域の指定となったと考察しています。

ちなみに、5年後には人口ビジョンの推計では、平成12年から令和7年の中期25年の人口減少率は、市全体で27.2%となっております。山武市として、人口減少対策は、まさに喫緊の課題であると考えております。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 次に、過疎地域への今後の対応についてお伺いします。

今回の過疎地域指定により、新たな財源確保が見込まれるとのことですが、今後の過疎地域への対応、また人口減少対策の見通しについて教えてください。

○議長（能勢秋吉君） 総合政策部長。

○総合政策部長（荒木康之君） 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法によりますと、都道府県は、過疎地域持続的発展方針を定め、その方針に基づき、市町村は、議会の議決を経て、過疎地域持続的発展計画を定めることとされており、この市町村計画に基づいて行う事業に対して、国は、経費の一部補助や必要な資金の援助に努めなければならないとされております。

千葉県では、昨年8月に、令和3年度から令和7年度までの5年間における千葉県過疎地域持続的発展方針を定めておりますが、令和4年4月に、過疎地域の追加指定を行う更新が見込まれますので、県と協議しつつ、山武市過疎地域持続的発展計画の策定を進めて

まいります。

具体的な支援措置の例といたしましては、過疎地域における施設の整備や地域の維持、活性化に資する事業に充当できる過疎対策事業債の活用、公立小中学校や保育所等に関する国庫補助率のかさ上げ、国税の減価償却の割増償却の特例措置や、地方税における条例による課税免除に伴う減収補填措置、地域課題解決のための事業に係る過疎地域持続的発展支援交付金などがございます。

また、東京圏から地方に移住し、地域企業へ就職する移住者に最大100万円を支給する地方創生移住支援事業など、これまで、対象区域外であった国庫補助事業が過疎指定により、対象団体となる場合もございます。

山武市過疎地域持続的発展計画は、今後の展開に柔軟に対応できるよう、県の方針を網羅する内容とすべきと考えますが、市の発展計画に基づいて実施する事業については、松尾地域及び山武市の実情に即しているか、個別具体的に費用対効果を検討し、精査してまいりたいと考えております。

なお、今回は、松尾地域のみの過疎指定となりましたが、次回、令和7年の国勢調査結果が反映される際には、他の地域の減少率が、松尾地域を上回ることも予想されます。

市全体の将来人口を見据え、なるべく市全体に効果が及ぶことにも配慮して、事業の構築、選択を進めていくべきと考えております。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 次に、まちづくりの観点から質問をしていきたいと思っております。

過疎地域指定を受け、町をつくるには、人を増やすしかないわけですが、人が生活するのに必要な雇用の場、利便施設、住宅地は、今後、必要不可欠だと思います。

そのためには、企業誘致や住宅地等のための宅地開発が必要になりますが、駅周辺の拠点地域や国道126号沿道等の適地と思われるエリアは、軒並み農業振興地域に指定されております。

農業振興地域の除外については、乗り越えなければならない障害が非常に大きく、関連する都市計画の見直しについても、長期間かかることは認識はしておりますが、今後、移住定住や農業の担い手確保等の観点から、必要な宅地開発は出てくると考えております。

そこで、旧松尾町の地域が過疎地域に指定されたことを契機に、まちづくりの計画として、総合計画等に、人口減対策につながる企業誘致や住宅地供給のための宅地開発につながるような施策について位置づけることはできないでしょうか。

また、そのような宅地開発が見込める際には、当該エリアの農業振興地域の除外について、市長のほうからも、県のほうにお願いをしていただく必要があると考えておりますが、市長のお考えをお伺いします。

○議長（能勢秋吉君） 市長。

○市長（松下浩明君） まちづくりの計画につきましては、過疎地域の指定を受けまして、まちをつくるには、人を増やすしかないということでございます。

そういう中では、松尾地域の過疎地域指定を受けまして、人口減少対策に取り組む必要性を、より一層強く感じているところでございます。

これまでも、人口減少対策に取り組んでいるところでございますけれども、生活圏における住民目線に立ったまちづくりの課題を分析した上で、総合計画等のまちづくりの計画に、関連施策を反映することを検討していきたいと考えております。

具体的には、都市全体の観点から、居住機能や都市機能の立地、公共交通の充実に関する包括的なマスタープランである立地的成果計画策定について、来年度に検討していく予定であります。

これと並行いたしまして、生活圏のまちづくりの課題と整理と分析を行っていく考えでございます。

なお、今後、人口減少対策に取り組み、持続可能なまちづくりの実現のために必要な住宅地開発が浮上したとなれば、県をはじめ関係当局に、積極的に要望活動等をしてまいりたいと考えております。

いずれにしても、今回、こういったことで指定をされた地域は、山武市全ての皆さんとともに、しっかりと対応してまいりたいと思いますので、今後とも御意見等をいただければと思います。ありがとうございます。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君） 次に、航空機騒音による人口減少への影響についてお伺いします。

松尾・蓮沼地区においては、成田空港の離発着する航空機の騒音直下となっていることは、この地域の人口減少に影響しているのでしょうか、見解をお聞かせください。

○議長（能勢秋吉君） 総合政策部長。

○総合政策部長（荒木康之君） 航空機の騒音の影響を受ける地域における人口減少の影響について、お答えいたします。

山武市では、毎年度、転入・転出者それぞれ400名を対象としたアンケートを実施しております。そのアンケートの回答において、転出の理由に、航空機騒音が挙げられたことは、ありません。騒音対策地域には、空港周辺対策交付金など、エアコン設置助成などの防音対策が講じられていることが、原因と思われます。

移住検討者が居住物件を探す際、騒音の有無は、非常に重要であると思いますが、騒音は、航空機に限らず、立地条件によって、多種多様であることや、松尾・蓮沼地域の人口動態においても、騒音の影響は見られないことから、松尾・蓮沼地区全体の人口減少に直接的な影響はないものと考えております。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君）　ありがとうございました。

現状の課題や地域の特性をしっかりと把握していただき、今後、策定されるであろう計画に反映していただき、国からの支援を最大限活用していただいて、人口減対策に取り組んでいただきたいと思います。

また、市長の政策の軸は、皆さんも御承知のとおり、人口減少対策ということでございます。先ほども前向きな答弁をいただきましたので、今後も、様々な観点から、人口減対策にアピールしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、財政運営について質問をさせていただきます。

今まで、議会において、財政運営については、多岐にわたり質問をさせていただきましたが、それも全て、山武市の将来のためということでございます。

現在の山武市の状況ですが、歳入においては、人口減少や新型コロナウイルス感染症の長期化により、市税収入の減少、また、交付税については、令和3年度から一本算定となったことや人口減少などで、今後の減少が見込まれております。引き続き、財政調整基金の繰入れにより、不足を補わなければならない編成になると予測されております。

歳出においても、必要な大型事業が控えているほか、少子化対策など、今後も増大が見込まれております。

このように大変厳しい状況で、新たな歳入の確保や歳出の削減は、今後、取り組まなければならない最重要課題と私も認識しております。

そこで伺います。

基金の運用について、令和2年度決算書によりますと、基金の状況は、一般会計で23基金、約170億3,600万円、特別会計を含めると、27基金、約185億7,100万円を有しております。

また、歳入決算を見ますと、一般会計では、17款財産収入のうち、基金利子として、約6,463万円が収入されております。

基金利子については、財政規模や基金残高により異なりますので、一律に比較することは難しいとは思いますが、山武市のような合併団体は、合併特例により、合併後15年間は、地方交付税が優遇され、また、合併特例債により、各種事業が実施できるなど、優遇がされており、計画的な財政運営の結果であると思います。

市有財産である基金は、市民からお預かりしている公金であることから、もちろん、安全第一で運用することは大前提ですが、現在の低金利下で運用することは、非常に困難な状況にあると理解をしております。

そのような状況の中で、山武市においては、多くの基金利子が収入されておりますが、基金の運用状況、運用方針等についてお尋ねします。

○議長（能勢秋吉君）　財政課長。

○財政課長（秋葉一徳君） 基金の運用方針、運用状況について、御説明を申し上げます。

基金の運用につきましては、市が定めている基金運用方針に基づき、運用を行っております。

基金は、資金残高の変動が比較的少なく、安定しているため、ペイオフ対策を考慮し、基金の確実かつ効率的な運用を図るため、債券による運用や、資金の流動性を確保するため、随時、現金化が可能な普通預貯金、定期預貯金等による運用を行っております。令和4年1月末現在では、債券が89億9,464万5,963円で47.1%、預貯金などの現金は101億519万8,051円で52.9%となっています。

基金の運用に当たりましては、一括運用の手法を取り入れており、基金ごとの個別運用ではなく、定額運用基金を除いた基金のうち、財政調整基金や地域振興基金など、同様の性質を持つ複数の11の基金について、一体的に管理、運用しております。

例えばでございますけれども、予期せぬ資金需要により、基金の取崩しが必要となった場合においても、基金全体で流動性が確保されているため、債券を売却せずに済むことから、より利率の高い長期の債券を購入するなど、有利な運用を行うことができます。

また、購入する債券につきましては、信用度が高く、安定した運用を見込める国債、政府保証債及び地方債等の公共債に限るものとし、原則として、満期まで保有することで、元本を毀損させないよう、安全性を最優先とした運用を行っております。

参考までに、昨今の預貯金金利の低下の影響により、債券の運用につきましては、多くの自治体が積極的に実施している状況でございます。

なお、基金の運用状況でございますが、令和2年度決算では、債券運用利子として6,365万5,543円、預金利子として98万2,563円、合計で6,463万8,106円を基金利子として、収入しております。

今後におきましても、確実かつ効率的な運用を行い、財源確保に努めてまいります。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君） まずは、運用方針等に基づいて、適正な管理をされているということで、安心したところでございます。

地方公共団体金融機構の調査では、資金運用に関する規程を策定している団体のうち、それを公表しているか否かを示すデータでは、それを公表していない団体が、全体で約70%に相当しているそうです。

市では、運用方針等、様々な規定の中で行われているということですが、それに基づいて、資金を運用しているのであれば、こういったものを公表するということが、資金が適正に運用されているかを、さらに評価できると私は思っております。

しかしながら、公表がされていないのであれば、また、資金運用が適正か否かの評価ができず、資金管理の透明性が低くなると思われるところもございます。

このような状況の中で、安定した運用を行っているのであれば、市民の方々の公金からなるものでございますので、情報はもう少し広くお伝えしていただき、引き続き、安全第一の中で、基金運用に努めていただければと思います。ぜひ、御検討ください。

次の質問に入ります。

蓮沼海浜公園の再整備について伺います。

蓮沼海浜公園の利用状況について、質問をいたします。

蓮沼海浜公園は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていると聞いていますが、コロナ禍前後での蓮沼ウォーターガーデンやパークゴルフ等の入場者数を教えてください。

○議長（能勢秋吉君） 都市整備課長。

○都市整備課長（遠藤和彦君） お答えいたします。

蓮沼海浜公園のコロナ禍前後の入場者数は、県に確認したところ、蓮沼ウォーターガーデンの令和2年度の入場者数は約8万人で、令和元年度の18万人から約54%の減少、パークゴルフ場は、令和元年度の約2万人から約18%の減少、子どもの広場は、約13%の減少になっていると聞いております。

○議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○7番（石川和久君） こちらは、関連質問がございますので、よろしくお願いいたします。

以上で、さんむ21、私の代表質問を終わりにします。ありがとうございました。

○議長（能勢秋吉君） 以上で、さんむ21、石川和久議員の代表質問を終わります。